

番号	委員名(発言順)	第1回審議会における主な御意見	市の回答
1	小池委員	「食べて菜」や「葉ごぼう」といった高松産の野菜をを食べる体験ができる場を、今ある事業の中に組み込んで実現いただきたい。	【農林水産課】 令和元年度「葉ゴボウ」をごじまん品に加えるなど、地場の特徴ある野菜を推進する体制を整えている。今後、料理教室等での活用を検討するとともに、いっそうのPRに努めてまいりたい。
2	西村委員	SDGsの17の目標を取り入れながら、目標設定や事業成果を検証していくことで、より良い効果が発揮していくのではないかと。	【創造都市推進局】 現在、策定中の「第3期まちづくり戦略計画」や「次期たかまつ創生総合戦略」における施策や事業において、SDGsの17の目標のうち、どの目標に貢献しているのかをアイコン表示などにより、市民の皆様に分かりやすくお示しをする予定であり、両計画の策定以後、本審議会においても本市のSDGsへの取組状況についてお示しさせていただきたい。
3	三井委員	瀬戸芸のごみ問題について、創造都市・高松らしい素敵な解決方法を議論にいただきたい。	【文化芸術振興課】 本市会場である男木島・女木島・大島については、毎日、本市職員が案内所業務に従事し、島内の巡回・美化活動を行ったが、ポイ捨てはほとんどなかった。また、島民との意見交換会においても、回を重ねて来場者のマナーが向上しているとの御意見をいただいている。しかしながら、一部の島において、ごみが高松港まで持ち帰られずフェリー待合所のトイレ等に置かれていた事例もあったと聞いており、今後は、島内におけるごみ袋の積極的な配布等、来場者へのきめ細かなおもてなしに取り組む一環の中で問題解決を図りたい。また、海外からの来場者が増加している状況を踏まえ、呼びかけの多言語対応にも一層の工夫をしていきたい。
4	橋本委員	今、我々が直面している大きな問題は、多文化をどうするかということである。多文化の問題をどういうふうに関高松市が先頭を切っていくのか。	【観光交流課都市交流室】 外国人労働者を含め、外国人住民にとって、生活しやすい環境を整えるために、「香川国際化推進会議」等を通じて関係機関と連携を密にしながら、今後、本市で生活していく中で顕在化してくる様々な課題を把握し、適切な対応に努めることで、外国人住民への必要な支援、サポートの充実を図る。
5	原委員	高松市美術館に展示されている現代工芸には、なかなか人が入っていない。作品も30年から50年前のものが並んでいる。今年京都の漆作家が国際的な賞を受賞したことで、漆が再度注目されるようになっているほか、斜陽化した有田焼はオランダと有田という関係性の中でオランダ大使館が非常に熱心な取組をしている。国際交流まで含めた交流によって、高松の良さをアピールできるのではないかと。	【観光交流課都市交流室】 姉妹都市交流等を含め、国際交流を行う際には、これまでも本市の伝統工芸品を活用するなど、本市の文化・芸術のPRに努めてきた。今後も引き続き本市の文化・芸術のPRに努める。

番号	委員名(発言順)	第1回審議会における主な御意見	市の回答
6	佐々木会長	高松市の工芸のビジョンをもう少し世界的な視野から練ってはどうか。	<p>【産業振興課】</p> <p>県と共同で実施したZOKOKU BRAND推進事業において、高級海外ブランドと香川漆器のコラボレーションを行い、その作品を「家庭画報」(世界文化社)に掲載したほか、毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアートの見本市「アートフェア東京」に、香川県漆芸研究所として出展するなど行った。今後も、瀬戸内国際芸術祭の開催の機会も捉えながら、世界的な視野からも施策を検討していきたい。</p>
7	篠田委員	学校巡回教室に邦楽等を呼んでいただきたい。	<p>【文化芸術振興課】</p> <p>従来から実施している雅楽に、ここ2年、民謡をメニューに加え、学校巡回能楽教室と合わせて、日本の伝統文化に触れられるよう機会を創出しているが、小中学校の希望が一部ジャンルに偏る傾向があり、実施に至らないメニューもある。邦楽については、今後、各校の意向調査時において、子どもたちだけでなく、先生方の興味をひくようなメニュー紹介をするなど工夫をしていきたい。</p>
8	出木浦委員	何もないところから創造するのではなく、何かあるものを如何にして有効に使うかという視点が大事ではないか。	<p>【創造都市推進局】</p> <p>本市の創造都市推進については、故大平正芳総理が掲げていた「何も新しいものを一から創り出すことではなく、今あるものの組み合わせや配列を変えて、新しい価値を生み出すこと」という「田園都市構想」の基本理念を基にしていることから、御指摘のとおり、今ある高松の取組や資源等を創造的に組み合わせながら、「魅力にあふれ、人が輝く創造都市」の実現を目指してまいります。</p>